

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-205483(P2011-205483A)

【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2010-71934(P2010-71934)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N	5/225	A
H 04 N	5/225	B

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月26日(2013.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段から出力された映像信号にニー処理を行う画像処理手段と、
画像処理手段によってニー処理がされた映像信号に関するウェブフォームモニターを生成する生成手段と、
前記生成手段により生成したウェブフォームモニターを表示装置に表示させる制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記ニー処理のニーポイントを前記ウェブフォームモニター上に識別可能に表示することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記制御手段は、撮影者が画質調整モードに遷移したとき、自動的にウェブフォームモニターを表示させる請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記制御手段は、撮影者がニーに関係する調整項目を選択したときに、ウェブフォームモニターを表示させ、ニーポイントの指標を表示させる請求項1に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記ウェブフォームモニターは、横軸に映像信号の水平又は垂直位置、縦軸に当該映像信号の輝度信号の波形レベルをとる波形であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1つに記載の撮像装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記ニー処理の影響を受ける輝度レベルをウェブフォームモニター上に識別可能に表示することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1つに記載の撮像装置。

【請求項6】

撮像手段から出力された映像信号にニー処理を行う画像処理ステップと、
画像処理ステップにおいてニー処理がされた映像信号に関するウェブフォームモニターを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにおいて生成したウェブフォームモニターを表示装置に表示させる制御ステップと、を有し、

前記制御ステップでは、前記ニー処理のニーコードを前記ウェブフォームモニター上に識別可能に表示することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の撮像装置は、撮像手段から出力された映像信号にニー処理を行う画像処理手段と、画像処理手段によってニー処理がされた映像信号に関するウェブフォームモニターを生成する生成手段と、前記生成手段により生成したウェブフォームモニターを表示装置に表示させる制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記ニー処理のニーコードを前記ウェブフォームモニター上に識別可能に表示することを特徴とする。

また、本発明の撮像装置の制御方法は、撮像手段から出力された映像信号にニー処理を行う画像処理ステップと、画像処理ステップにおいてニー処理がされた映像信号に関するウェブフォームモニターを生成する生成ステップと、前記生成ステップにおいて生成したウェブフォームモニターを表示装置に表示させる制御ステップと、を有し、前記制御ステップでは、前記ニー処理のニーコードを前記ウェブフォームモニター上に識別可能に表示することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

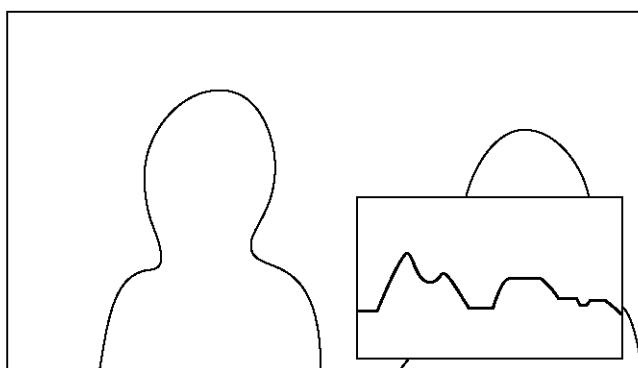
【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

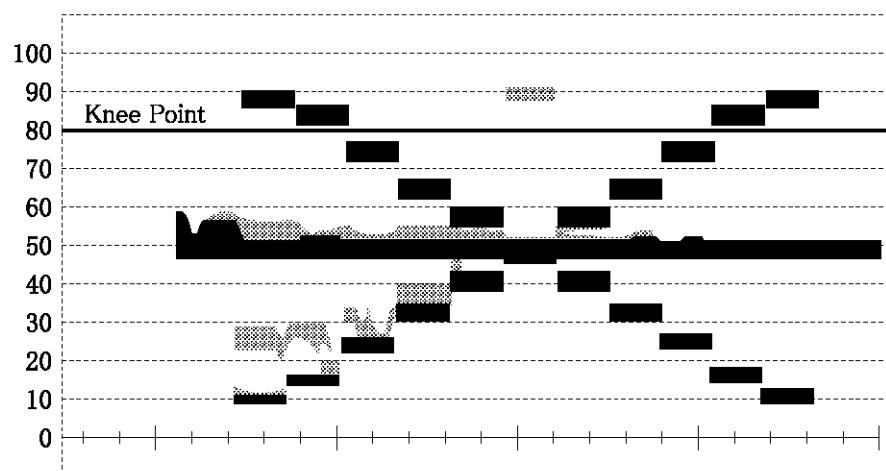
【補正の内容】

【 図 4 】

(a)



(b)



(c)

